

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

2026年度東海大学付属学校推薦型選抜 367名が合格 おめでとう!

2026年度東海大学付属学校推薦型選抜367名が合格

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力の育成を教育目標に掲げています。この4つの力を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。

ご存知の通り、本学は23学部62学科・専攻をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、来年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2025年12月1日(月)に東海大学付属学校推薦型選抜の合格発表がありました。これで、4月の学園基礎学力定着度試験から始まり、児童教育学科、医学科、看護学科、航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査を経て、11月の学園高大連携総合試験ならびに小論文試験などすべての試験が終了し、半年強にわたった一連の付属学校推薦型選抜も終了しました。2026年度は367名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の約81%に相当します。

合格した生徒は、大学指定の入学前学習に取り組みつつ、入学までに各自で必要な学力を付けておくようにしてください。

右に2026年度の合格者の状況を紹介します。



合格先	合格者数
国際学部	32名
経営学部	26名
観光学部	24名
情報通信学部	29名
政治経済学部	29名
文学部	12名
文化社会学部	24名
法学部	10名
教養学部	14名
児童教育学部	12名
体育学部	25名
健康学部	19名
理学部	10名
情報理工学部	10名
建築都市学部	25名
工学部	28名
医学部	10名
人文学部	2名
海洋学部	13名
文理融合学部	5名
農学部	0名
国際文化学部	5名
生物学部	2名
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1名

部・同好会活動報告

高校 吹奏楽部

第73回全日本吹奏楽コンクール 銀賞受賞！

全日本コンクールを終えて

3年2組 仲田 早希

私たち吹奏楽部は、10月19日に宇都宮で行われた全日本吹奏楽コンクールで銀賞を受賞しました。目指していた結果には届きませんでしたが、これまで積み重ねてきた日々を信じ、自分たちらしい音楽を届けることができました。支えてくださった先生方や生徒の皆さん、応援してくださった方々のおかげで、この舞台に立てたことを誇りに思います。

悔しさの中にも大きな学びと成長があり、この経験は一生の宝物です。これからも感謝を忘れず、音楽で恩返しできるよう努力を重ねていきます。今後も応援をよろしくお願いいたします。



柔道部

関東高等学校選抜柔道大会 出場！

関東でつかんだ手応えと悔しさ

2年6組 薄井 崇介

11月8日、千葉県総合スポーツセンター武道館で開催された関東高等学校選抜柔道大会に、60kg級の東京代表として出場し、準優勝しました。この大会での優勝を目標に、7月から体づくりや技の精度向上、そしてメンタル強化に取り組んできました。大会ではその成果を発揮し、得意の背負投や寝技で一本勝ちを重ねました。特に3回戦の千葉県代表との対戦では、利き手の薬指を負傷しながらも集中力を切らさず戦い抜き、勝利をつかみました。後日の検査で骨にヒビが入っていたことが判明しましたが、それでも最後まで気持ちを保って戦えたことは大きな収穫です。決勝ではあと一步届かず悔しさが残りましたが、全国で戦える自信を得ることができました。応援してくれた仲間や家族に感謝し、1月の高校選手権予選に向けてさらに精進していきます。



初の関東大会

2年8組 石間 道生

私は東京都予選を勝ち抜き、関東高等学校選抜柔道大会に出場しました。今大会は前日計量があったため、普段より厳しい減量を行い、5日間で5kg体重を落として計量をクリアしました。計量後のリカバリーも順調で、本来の調子で試合に臨むことができました。試合では、2回戦で茨城県代表選手に対し、得意技の背負投を決めて勝つことができました。しかし、3回戦では埼玉県代表選手と対戦し、序盤に有効ポイントを奪われ、その後追い上げましたが得点できず、惜しくも敗退となりました。悔しさは残りましたが、他県のトップレベル選手と互角に戦えたことで自信を得るとともに、課題も明確になりました。日頃から支えてくださった先生方や仲間、家族に感謝し、今後の試合に向けてさらに努力を重ねていきたいと思います。



福祉委員会

ライフサステナビリティチャレンジに参加

株式会社ライフコーポレーションが主催する「ライフサステナビリティチャレンジ」に参加させていただきました。10月20日からの1週間、福祉委員が不要になった衣類の回収を生徒に呼びかけました。回収された衣類は、近隣のライフ店舗へ届けられ、リサイクルされたり、海外へ輸送されて難民の方々に活用されます。



福祉委員長 3年4組 山口 さくら

今年度から福祉委員会では新たな取り組みとして衣類の回収を行いました。家庭で不要となった衣類を集め、近隣のライフ店舗に寄付をしました。この活動を通して、物の大切さを改めて感じることができました。自分には不要でも捨てるのではなく、他の人の役に立つことがあると学び、物を繰り返し使うことで環境にも優しくすることができました。

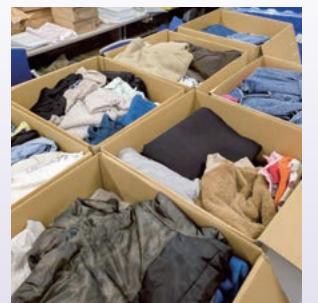
この活動を通して学んだ、物の大切さを忘れずに、物をより長く使えるように心がけて生活していきたいです。古着回収のご協力、ありがとうございました。



回収している様子



丁寧に梱包しています



たくさん集まりました！

公益社団法人日本青年会議所 「グローバルユース国連大使育成事業」に参加

1年10組 茨田 流来

私は、2025年度のグローバルユース国連大使として、日本中の中高生20人の中に選ばれ、東京・広島・ドイツでの研修を経て国連大使として活動をさせていただきました。広島では被爆者の方々の話を通して平和の尊さと語り継ぐ責任を学び、東京では行政や国際機関の方々との対話を通じて、社会を動かす仕組みや協働の大切さを実感しました。ドイツでは多文化共生や環境への取り組みを学び、各国の代表の大使とパディを組み、グループ発表やディスカッションを重ねる中で、国際的な視野と仲間の大切さを感じました。さらに、小池都知事や港区長への表敬訪問では、地域と世界をつなぐ政策の現場を体感しました。これらの経験を通して、将来の夢である「共生社会の実現」に向け、障害の有無にかかわらず互いを尊重し、誰もが安心して暮らせる社会をつくるために、これからも学びを深め、行動していきたいと改めて考えるようになりました。



左から順に、新宮弘章・港区教育長、茨田君、清家愛・港区長

2025年度学校運営方針

今回は、実践目標の中から、英語教育についてご紹介いたします。

実践目標

実践的な英語力を身につけ、国際社会に適応できるよう、そのための英語教育の推進を図る

① GTECに対応したEFSE指導方法の構築

② 語彙力を高めさせる

③ 多読を推進する

④ 中高全学年の英語の授業にTeamsの人工知能を活用したReading家庭学習を導入・活用する

⑤ GTEC・英検・TOEIC®・TOEIC Bridge®・TOEFL®等、各種資格の取得を勧め、指導する

※GTEC4技能スコアは、東海大学付属推薦制度の選考基準の1つに含まれています。

⑥ 英語によるディベート・プレゼンテーションを指導する

⑦ 海外の学校との交流を通して生きた英語力を身につけさせる

本校では、英語を「使える言語」として身につけるために、4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく伸ばすことに重点を置いて英語学習を行っています。

特に「話す」「聞く」技能を高めるために中等部1年生から高校3年生まですべてのクラスで外国人講師による英会話の授業（クラスを2分割して少人数で実施）を行っており、アクティビティーを多く取り入れた内容で、知識の定着と英語を使った自己表現力・コミュニケーション能力の向上を目指しています。この6年間あるいは3年間の授業を通して、生徒たちは英語を話すことに自信を持つことができます。

英語力の実践の場として、中部部では、Tokyo Sightseeing Tour(1年生)、English Summer Camp(2年生)、海外英語研修旅行(3年生)、高校では、英語スピーチコンテスト(1年生)、海外研修旅行(2年生)、英語ディベートコンテスト(3年生)などを実施しています。また、高校3年生の希望者を対象として、ハワイ中期留学(約60日)、カナダ中期留学(約70日)のプログラムも実施しています。

SSHクラスでは、すべての生徒が自分が取り組んだ研究について、英語でまとめ、発表しています。毎年10月のSSH成果報告会の時にタイのパヤオ大学附属高等学校、マハーサーラカム大学附属高等学校を招いて英語による口頭発表、ポスター発表を行っています。また、毎年タイで開催されるタイ教育省主催の国際発表会にSSHクラスの生徒が参加し、研究発表や交流を行っています。

また、普段の授業では練習時間の確保が難しい音読について、Microsoft TeamsのAI機能を活用したReading 練習を取り入れています。これは単語や文を正しい発音、強弱、語のつながり、抑揚などを意識して生徒一人ひとりが自分のペースで繰り返し家庭で練習して、納得した音読の録音・録画をTeamsを通じて提出し、それをAIが評価するというものです。これまでの授業中の音読練習は一斉やペア形式の音読なので、恥ずかしがったり、大声で発音したり、機械的に読む生徒がいたり、教師の側からも音読活動を適切に評価することが難しい面がありましたが、このAIを活用した音読は生徒一人ひとりの能力を伸ばすのに非常に有効なものとなっています。

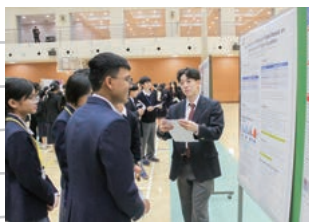
このように、本校ではグローバル化が進む現代社会において、実践的な英語力を身につけ、国際社会に適応できる生徒の育成を目指し、英語教育のさらなる充実を図っています。



English Summer Camp(中2)



海外英語研修旅行(中3)



SSH英語ポスター発表

SSH活動報告

10月25日、東海大学品川キャンパスおよび本校にてSSH成果報告会を開催しました。国内SSH校から4校、タイ王国から2校の生徒も参加し、本校生徒と合同で英語による研究発表会を行いました。本校からは、3年生の代表2名が口頭発表、2・3年生全員がポスター発表を行い、1年生は聴講者として参加しました。また同日、岐阜県の核融合科学研究所のオープンキャンパスでは3年生2名が、芝浦工業大学で行われた「高校化学グランドコンテスト」では3年生5名が課題研究の成果を発表しました。それぞれの活動に参加した生徒の感想を紹介します。



英語での質疑応答

An opportunity to consider the future of research

3年10組 梶山 紗也香

本校を含む5校の国内高校と2校のタイ王国の高校が集い、国際交流と研究分野の交流が両立した成果報告会となりました。私は研究発表の場において、発表をしたという事実よりも、発表者が伝えたことが、新たな議論や未発見の視点を得るなどの、変化を起こしていくことが大事だと思います。今回の口頭発表では、発表者と聴衆が会話しているような、また聴衆同士で会話が生まれるような空気で発表会が進行したことで、発表者と観衆両者にとって意義ある時間になったと思います。私は今年度4月にタイを訪れたこともあり、สวัสดีค่ะ(日本語で「こんにちは」という意味)と言うと皆さんとても喜んでくださり、大きな拍手をいただきました。実は昨年よりも自分の伝えたいことが不明瞭で、準備段階ではかなり苦しみました。何度もよかったと声をかけていただけて嬉しく感じると同時に、改善点を次へ活かしたいです。

成果報告会を通して感じたこと

3年10組 田中 翔海

今回、初めて英語での口頭発表を行いました。準備の段階では、自分の研究内容を英語でどのように正確かつ簡潔に伝えるかに悩み、何度も表現やスライドの構成を見直しました。練習を重ねるうちに、単に文章を暗記するのではなく、自分の言葉で理解し、相手に伝えることの大切さを実感しました。本番では緊張しましたが、聴衆の表情を見ながら話すことで徐々に落ち着き、全体を通して自分の研究をしっかりと発信できたと思います。特に質疑応答では、想定していなかった質問にも英語で冷静に対応でき、これまでの準備が成果として表れたと感じました。また、他の発表者のスライド構成や英語表現の工夫からも刺激を受け、自分の課題や改善点を具体的に把握することができました。今回の経験を通して、英語で伝える力の重要性を改めて認識し、今後はより自然で説得力のある発表ができるよう努力を続けていきたいと考えています。



英語発表の様子

発表を通して学んだ伝える力

3年10組 藤崎 司

10月25日に岐阜県土岐市の核融合科学研究所で行われたオープンキャンパスにて、口頭発表とポスター発表を行いました。多くの来場者の前で説明するのはとても緊張しましたが、実際に発表をしている中で、自分の言葉で研究内容を丁寧に伝えることの大切さを強く感じました。質疑応答では予想していなかった質問を受け、自分の理解の浅い部分に気づくだけでなく、新しい視点から考えるきっかけにもなりました。発表後には先生方や研究所の方々から実験に対する具体的なアドバイスと改善方法をいただき、研究をより良くするための方向性を見つけることができました。また、来場者の方々が興味を持って話を聞いてくださったことが嬉しく、自分の今までの努力が伝わったという達成感を得ました。今回の経験を通して、科学の面白さと学びの広がりを感じ、これからも探究を続けていきたいと強く思いました。



口頭発表での一枚

発表を通して感じた成長と学び

3年10組 川口 裕子

高校化学グランドコンテストに参加して多くのことを学びました。自分の研究を全く知らない人に、一からわかりやすく説明することの難しさを実感しました。発表するのは難しかったけれど、自分のわかる範囲で精いっぱい伝えるように頑張りました。その中でさまざまな人から質問を受けたり意見をもらったりすることで、自分では気づけなかった視点から研究を見直すことができました。二日目は他校の口頭発表を聞きました。同じ高校生とは思えないほど研究のレベルが高く、強い刺激を受けました。また、他校の生徒や大学生の方々と交流する中で、研究への新しい考え方や取り組み方を知ることができました。全国の高校生がそれぞれのテーマに真剣に取り組む姿を見て、自分ももっと努力しようという気持ちになりました。今回の経験を通して得た学びや刺激を、今後にも生かしていきたいです。



ポスター発表での1枚

グラコンでの発表会を終えて

3年10組 山田 麗温

高校化学グランドコンテストに出場し、そして他校の発表を観覧することで、多くの学びと刺激を得ました。自分たちの研究を発表する際は、実験データの整理や論理的な説明の難しさを実感しましたが、審査員や参加者からの質問を通して新たな視点を得ることができ、とても貴重な経験になりました。一方で、他校の発表を聞く中では、身近な問題を化学的に解決しようとする発想力や、データを丁寧に分析する姿勢に感銘を受けました。どのチームも粘り強く研究に取り組んでおり、自分たちの活動をさらに高めるヒントを多く得られました。この発表会を通じて、化学の奥深さや研究の楽しさを改めて感じ、今後も探究心を持って挑戦を続けたいと思いました。



初めての外部発表会

学年だより 中1

剛健旅行

先日、西浦和で剛健旅行が行われました。「剛健旅行から学んだこと」というテーマで作文を書いてもらいましたので、ご紹介いたします。

A組

葉袋 眞子

私は、この学校に入って初めての剛健旅行に参加しました。剛健旅行に参加する前は、約16kmを歩くことに「面倒だな」「やりたくないな」などマイナスな気持ちがたくさんありました。

けれど実際歩いてみると、一緒に歩いた友達との仲が深められ、たくさん歩いていろいろな景色を見ることができました。

この学校に入学していなかったら、このような長い道を歩くことはあまりないと思ったので、とても貴重な体験をすることができました。

また、すれ違った先輩方にあいさつをすると返してくれたのが嬉しかったし、頑張ろうと思えました。

先生方や保護者、後援会の皆さんのおかげで剛健旅行ができたと思うので、とても感謝しています。来年も頑張りたいです。

B組

川島 駿輝

私は、剛健旅行で感じたことが二つあります。

一つ目は、オリエンテーション合宿とは違い、たくさんの友達や先輩方と一緒に歩くことができました。友達と歩くことは、普段の生活と違った楽しさや喜びを体感できました。

二つ目は、スタートからゴールまで歩き切った時の達成感です。約16km近く歩くと言われて、最初は面倒くさく、サボりたいとも思いました。しかし、いざスタートしてみると、長く感じていた距離も、話し、楽しみながら歩いてみると、あっという間に感じました。

第二チェックポイントに着き、疲れながらもそこで食べたおにぎりは普段よりおいしく思えました。そして残りを歩き、ゴールした時の達成感はずいぶんものでした。歩き終えた直後は、物足りなさも感じました。今はもうなくなってしまいましたが、嫌悪で行われていた剛健旅行にも参加したくなりました。

A組

安垣 雅冬

今回の剛健旅行では約16kmを歩きました。約16kmという距離を歩いたのは、人生で初めてかもしれないです。

最初は、楽しく歩いていたのですが、途中から遊びながら歩いたせいで体力を使ってしまいました。歩く速度も落ちたせいで、開始2kmぐらいの地点で最下位になってしまいました。

僕は友達と「疲れた」などの弱音を吐かずに、プラスな発言をするように心掛けていました。結局到着したのは、13時半になってしまいましたが、マイナスな発言をしなかったのが、嫌な気持ちにならず、気持ち良く剛健旅行を完歩することができました。

今回の剛健旅行では、学べることが多くて良かったです。普段気づけない景色を発見できて、歩くことの楽しさを感じることができました。

B組

坂本 義将

剛健旅行の思い出は二つあります。

一つ目は、友達や先輩と一緒に約16kmを完歩できたことです。友達と一緒に歩くことで友情が深まったり、意外な一面を発見できたりしました。1年生で初めての剛健旅行でしたが、友達や先輩たちのおかげでたくさんの思い出ができました。

二つ目は、剛健旅行を体験できたことです。この学校に入っていなかったら体験できていないので、この学校に入ってくれた親に感謝の気持ちを伝えたいです。それに、一緒に歩いてくれた友達や、チェックポイントで寒中待っていてくれた先生方がいなければ、良い剛健旅行にはなっていなかったと思うので、感謝を伝えたいです。

たくさんの思い出ができ、無事に剛健旅行を終えられて良かったと思います。



学年だより 中2

剛健旅行

先日、西浦和で剛健旅行が行われました。「剛健旅行から学んだこと」というテーマで書いた作文をご紹介いたします。

A組

芝畑 賢寿

私は、剛健旅行に行ってみていろいろなことを学びました。

一つ目は、仲間と支え合うことの大切さです。約16kmの距離を歩くことは大変です。田島臨時グラウンドからスタートし、秋ヶ瀬公園、彩湖・道満グリーンパークを目指すコースを歩きました。約16kmの距離を一人で歩くのは、大変であまり楽しいと感じません。しかし、そこに友達や仲間がいることによって、歩きながら会話をすることができ、長く歩いて疲れても仲間がいることによって頑張ることができるということを学びました。

二つ目は、周りの人の協力があるありがたさです。この剛健旅行を行うにあたり、いろいろな人が協力をしてくれました。場所を提供してくださった市の方々や周りの住民の人たち、各スポーツにずっと立ち続けてくれた先生方、おにぎりや飲み物を準備してくださった後援会の方々のおかげで無事に行事をやり終えることができたと思います。

剛健旅行を通して学んだことを、今後の学校生活にも活かしていきたいです。

B組

田中 雅楽

私が、剛健旅行で学んだことは、大きく分けて二つあります。

一つ目は、友達と助け合うということです。今回は4人の友達と歩きましたが、そのうちの1人が疲れて歩けなくなってしまいました。すると、他の友達がその子のリュックに入っていた水筒や重いものを出してあげ、代わりに持って歩いていました。また別の友達がレジャーシートを忘れてしまったので、その子を自分のシートの中に座らせてあげていました。お互いに助け合って協力をしていたからこそ、みんなでゴールできた気がします。

二つ目は、何事もやる前に決めつけないということです。私は、剛健旅行に行く前、最後まで歩けるのか、友達と話が続けるのかといった不安ばかりでマイナスな方へ考えていました。しかし、実際に参加してみると、ゴールまでしっかり歩いて、たくさんのことを友達と話せました。

この剛健旅行でしか得られない特別な経験や学んだことを、自分の将来につなげていきたいです。



学年だより 中3

～建学祭を終えて～

中部部3年間の学習発表による建学祭が終了しました。中部部3年生は、中部部生活における行事の紹介や学校生活についてポスター制作し、それをすこくしながら紹介しました。また、理科の授業にて生徒一人ひとりがバイオミメティクス商品開発を行い、生成AIによる商品画像を作り紹介しました。

中部部最後の建学祭

A組 川口 卓真

今回の建学祭では、「行事すこく」をしました。これは、すこくをしながら中部部生活で経験する行事を紹介するというものです。他にもAIを駆使して動物の特性と何かの物をかけ合わせた商品を考えて紹介しました。準備期間中、景品のしおりを作っている時、友達同士がもめたりとても大変でしたが、昼食時に違うクラスの友達と食べたり、一緒に準備したり、普段経験することのないことができました。当日お客様を迎えてみて、一つ一つの行事をどれだけわかりやすく、また楽しかったところを伝えるのがとても難しかったです。中部部生としての建学祭は終わってしまいましたが、高校生になっても楽しみたいです。

私たち3年間のあゆみ

B組 渡部 桜子

私たちの学年は各グループに分かれ、これまでの行事をポスターにまとめて、すこくをしながらお客様に紹介しました。準備期間では生徒たちの団結力がなくように感じましたが、建学祭本番では全員がお客様のために全力を注いでいる姿が見られました。例えば、お客様に積極的に声掛けをしたり、自ら率先してシールを配ったり、さいころを振る時に応援したりと、楽しく仕事をしている人が多かったです。私はみんなの良いところを参考にして、「お客様に楽しんでもらおう!」というモチベーションにつなげました。

当日お客様を迎えて嬉しかったことは、中3の催し物を楽しんでくださったことです。お客様が楽しめるように頑張ってた良かったと思います。



高輪万博へようこそ!



接客頑張るぞ～!



接客中

～剛健旅行～

秋晴れの中、昨年度より新たなコースでの剛健旅行が行われました。普段あまり訪れないような場所で友人と会話をしながら歩くことで、相手の意外な一面が見られたり、自然を満喫したりと良い気分転換になったのではないのでしょうか。

中部部最後の剛健旅行

A組 山守 うらら

この剛健旅行では、頑張ることの大切さと友達と歩くことの楽しさを経験しました。もともと体力には自信がなく、約16kmも歩くことはとても大変でした。途中諦めたりしましたが、友達に励まされながら完歩することができ、ゴールした時は、最後まで頑張って良かったと思いました。また、中部部最後の剛健旅行は、ゴールまで5時間かかりました。普段学校生活で友達とそこまで話す機会はあまりないのですが、剛健旅行では5時間も話しながら歩いていました。共に歩くことができたことで、より仲が深まり、本当に楽しかったです。今年は5時間ほどで完歩したので、来年はもっと体力をつけて4時間代でゴールしたいです。

心に残った剛健旅行

B組 有馬 一翔

今回の剛健旅行を通して得たことが2つあります。1つは、約16kmの道のりを歩くことで達成感や自己肯定感が得られ、体力や精神力の向上につながったことです。私は少しでも早くゴールしたいという気持ちがあったので、自然と競争心が芽生えて歩き続けることができました。2つ目は、友達との関係性がより深まったことです。普段の私は、自らあまり積極的に話す方ではありませんが、剛健旅行を通して友達と歩きながらたくさん話すことができました。自然いっぱいの中で友達と話しながら楽しいひとときを過ごせたこと、また普段見られない友達の姿を見ることができ、たくさんの思い出になりました。



いってきま～す



いよいよ出発だ～



まだまだ余裕です



空気がおいしいな

学年だより 高1

建学祭

高校1年生にとって、初めての建学祭が開催されました。それぞれ試行錯誤しながら協力し、個性豊かな素晴らしい展示ができました。

1

組

李 侑美

高校生活初めての建学祭で、私たちのクラスではハーバリウムの出展をしました。準備の時は、材料をそろえたり、教室の装飾を考えたりと大変なことも多かったですが、みんなで協力して一つ一つ進めていきました。特に買い出しに行った友達とは、話す機会が増えてさらに仲が深まりました。当日は予想以上にたくさんの方が来てくださり、ハーバリウムはすぐに売り切れてしまいました。驚きと同時に、とても嬉しかったです。最後までやりきった達成感は忘れられません。クラス全員で力を合わせたこの経験は、学校生活の大きな思い出になりました。

2

組

進士 結羽

2組は、シャカジャカしおりとミサンガしおり作りの企画を立てました。教室の装飾はみんなで案を出し合って、本屋さんのような装飾にし、クラス全員のおすすめ本とともにポップやしおりを展示しました。全員がお客様にきちんと教えられるように、夏休み前から実際に作って練習しました。建学祭当日もクラスで考えた装飾をより良いものにするために、集合時間よりも2時間ほど早く来ました。そのかいあって、お客さんは2日間で620人も来てくださり、2日間ずっと忙しい営業となりました。今回の建学祭を通してクラスが一気に仲良くなり、みんなが同じ方向を向くようになったことが良かったと思います。

3

組

大澤 七月

今回の建学祭では、クラスみんながお客様のために一致団結し、準備から一人ひとり全力で取り組んでいたことがとても良かったです。また、子どもから大人まで幅広い世代の人たちに楽しんでもらえて、嬉しかったです。クラスをまとめる上で気にかけてくれたことは、「建学祭を成功させる」という目標だけでなく、「みんな楽しんで」「思い出を作る」といったことも心がけながら、クラス展示のバスボム作りをしたことです。建学祭を通して築いたクラスの絆を、これからの学校生活でも活かしていきたいです。

4

組

森下 慎士

私は建学祭で、仲間と協力しながら一つのものを作り上げる大切さを学びました。準備期間は忙しく大変でしたが、クラスのみんなが助け合いながら作業を進め、本番を迎えることができました。当日は、お客さんが笑顔で楽しんでくれている姿を見て、大きな達成感を得ました。クラス全体の団結力も深まり、普段あまり話す機会のなかった人とも協力して活動できたことで、新たなつながりが生まれました。この経験を通して、協力することの大切さと、仲間と努力を重ねて成果を生み出す喜びを実感しました。

5

組

久保田 一輝

今回の建学祭は高校生活の中で初めての大きな行事でしたが、一人ひとりの協力のおかげで、私はみんなが楽しめるような建学祭にできたかと思っています。さて、みんなが楽しめる建学祭にするために私が建学祭前日の準備で気にかけてくれたことは、展示内容を展示の世界観に合わせたことです。もともとモグラは森などの地中にいることから、展示の工夫として、アクセサリーが入っている袋を木から取るようにしました。また、この展示の雰囲気にならうように大きな木を作りました。クラスみんなの意見がかけ合わさってできていたので、より良いものになりました。

6

組

山越 冴夏

私たちのクラスでは、オリジナル缶バッジの制作を行いました。クラスみんなのアイデアを組み合わせてとてもかわいいデザインが完成し、喜びを感じました。準備や接客などを行っている時は忙しくて疲れましたが、みんなで助け合いながら乗り越えることができてきました。来場してくださったお客さんからの喜びの声が聞けたことや、作品が多くの人に見てもらえたことは嬉しい限りです。今回の行事では、もっと大きな舞台上で活躍したいと思います。

7

組

服部 元希

私のクラスでは、アンブレラメーカー作りを出展しました。夏休みに入る前から、クラス建学祭委員を中心に何を展示するのかを話し合いました。建学祭が近づくにつれ、しっかりとできるか不安になることもありましたが、担任の傳農先生に助けをもらいながら良い建学祭になるように努めました。最初はクラスの全員がバラバラで準備が進みませんでしたが、級長・副級長と一緒にクラスメイト全員を一致団結させて準備を終わらせ、建学祭当日には多くのお客さんに楽しんでもらうことができました。クラスをまとめることの難しさを知りましたが、同時に、全員で協力すればどんなこともできるようになることを学びました。

8

組

小林 祥ノ介

8組は建学祭で万華鏡を出展しました。準備の段階ではいろいろなハプニングもあり、成功するかどうかわからず心配なところがありました。全員が協力して頑張りました。シフト外でも混んでいたら手伝って助け合ったり、作り方がわからない人には周りの人が指示したり、私がまとめることが必要ないくらいみんなが団結していても良かったです。来場では、みんなが呼び込みで声を出して楽しんでいたり、お客さんが楽しめるように接客をしていたりと、みんなの思い出になるような建学祭になったと思います。

9

組

伊丹 優忠

9組は、ボトル作りを出展しました。ボトルを購入したあと、残った予算で装飾やボトルデザインの材料をどうするか話し合いましたが、なかなか買い出しができず、建学祭準備期間に放課後などの時間を使って買い出しを行い、なんとか出展の準備を整えることができました。1日目は午後のお客さんが少なく、商品が余ってしまいましたが、2日目は午前中を中心に販売し、16時前に完売することができました。看板や内装にもこだわり、お客さんに「良かった」と言ってもらえて嬉しかったです。予算や販売個数の面で課題も多かったのですが、次の建学祭ではこの経験をしっかり生かしていきたいです。

10

組

朱牟田 晴雄

10月に行われた建学祭で、私たちのクラスは炎色反応の実験を行いました。当日は予想をはるかに上回る人数に来ていただけました。火を扱う実験ということで、配慮しなければいけない部分が多く苦労しましたが、得たものもたくさんありました。この建学祭が高校生活で初めてクラス一丸となって取り組む行事で、普段あまり関わらない人とも話すことができ、断片的ではあるかもしれませんが、友達の人間性を知ることができたと思っています。困ることも多い数カ月でしたが、来年もまた頑張ろうと思える建学祭でした。



学年だより 高2

建学祭

10月11日・12日に行われた建学祭の各クラスの様子をご紹介します！

1組 佐藤 大和

1組は教室に日本庭園を作り、金継ぎ体験を出展しました。金継ぎは壊れた器を漆で修復し、美しくよみがえらせる伝統工芸です。金継ぎ講師の方に協力いただき、クラス全員で事前学習として金継ぎ体験をしました。予算は限られているため、材料に剣道部の竹刀の廃材を使うなど工夫を凝らし、個性ある展示と体験を完成させることができました。建学祭を通じて、日常生活においても仲間と協力することの大切さを実感しました。



2組 古徳 瑞華

クラス建学祭実行委員として準備を進めるのは大変でしたが、当日多くの方に楽しんでいただけて、とても嬉しく感じました。クラスの出し物は手形アートで、思っていた以上にたくさんの方が参加してくださいました。手形の色や形を自由に工夫して、それぞれが個性を表現している様子がとても印象的でした。クラス全体で協力しながら一つの企画を成功させることができ、達成感とともに良い思い出になりました。



3組 清水 心

今年の建学祭で、私たちのクラスではモールフラワーを作りました。最初はうまく作れなかったけれど、みんなで教え合いながら次第にきれいなモールフラワーを作れるようになりました。その時の達成感は大変な経験となりました。本番でも多くの来場者の方に喜んでもらえて、とても嬉しかったです。建学祭準備を通してクラスの団結力も深まり、忘れられない思い出になりました。



4組 鈴木 万明

4組は「香り玉」の制作体験を出展しました。香りの種類や材料の説明パネルを工夫し、来場者を楽しみながら体験できるようにしました。今年のテーマである「異彩」に合うように、香りの強さや色合いにもこだわりました。装飾も色鮮やかに、この空間にいることが楽しめるように、単調なものにならないように皆で協力して進めることができました。



5組 井上 和音

私たちのクラスではハーバリウム作りを行いました。色とりどりの花を使い、オリジナルの作品を作れるので多くの人々が立ち寄ってくれました。また装飾材料が準備日当日に届くというハプニングもありましたが、クラス全員で協力して無事に完成させることができました。準備から本番までの時間は大変でしたが充実しており、クラスの結束を改めて実感できた有意義な建学祭でした。



6組 平井 佑征

今年の建学祭は、クラスみんなで力を合わせて準備したことが一番の思い出です。最初は意見が合わなかったり、積極的に動く人も少なく大変なこともありましたが、時間が経つにつれ積極的に動く人が増えていきました。当日にはたくさんのお客さんが来てくれて達成感を感じました。協力することの大切さを学べた行事でした。来年はもっとより良いものを作るために準備期間から協力し合いたいです。



7組 森村 椿

7組はレジンでキーホルダーを作るという体験コーナーを出展しました。部活動の大会などで参加できない人が多く、準備は少ない人数で大変でしたが、協力してなんとか形にすることができました。当日は思ったより多くのお客さんが来てくれて、嬉しかったです。みんなで作り上げたものは達成感があり、良い思い出になりました。



8組 山川 遥暉

8組はピンキーホルダー制作体験の出展をしました。準備日では、来てくださる方が楽しんでいただけるように、教室の装飾や当日の進行がスムーズに進むようにシフトを組みました。クラスで何を行えばよいのかと皆で考えて意見を出し合った結果、当日はたくさんの方々の喜んでる姿が見受けられて、嬉しかったです。また、クラスの団結力も高まったと思います。2年生として残る行事もわずかなので、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



9組 荒川 優心

私たちはピタゴラ装置を作成し、お客さんに体験してもらおうと計画していました。限られた材料の中、クラスメイトと協力しながら作業を進めましたが、初日は準備が間に合わず出展できませんでした。2日目は準備が整い出展することができました。来ていただいたお客さんが、子どもから大人まで楽しそうに体験しているのを見て、私たちも嬉しく、頑張って良かったと感じました。来年も多くの方に喜んでもらえるような企画を考えたいです。



10組 仲井 央輔

私たちは建学祭でマイクロプラスチックを使ったレジラクセサリー作りを出展しました。今回の建学祭は、準備にとても時間がかかりました。まず、準備日一日目に装飾や机の配置などをすべて完成させ、二日目に葛西臨海公園へマイクロプラスチックの回収に行きました。準備し始めた段階では、やるべきことが曖昧でクラスがなかなかまとまらなかったのですが、だんだんと協力し合えるようになっていきました。建学祭当日には、トラブルが起きてもみんなで協力して対応できるようになっていました。



学年だより 高3

最後の建学祭

10月11日・12日に、高校3年生にとって最後の建学祭が開かれました。前庭での模擬店や、校内での展示など、どのクラスも最高学年として素晴らしい接客や装飾ができていました。

1組 ぎょ♡ばお! ~こんなうまいの食べたことある?~ 久保田 有海

今年の建学祭では、クラスで餃子の模擬店を出店しました。準備の段階では意見をまとめるのが大変でしたが、試行錯誤を重ねて協力し合い、無事に成功させることができました。当日は多くのお客さんに来ていただき、完売した時の達成感忘れられません。衛生面や接客にも気を配り、笑顔で販売することを心掛けました。仲間と力を合わせて作り上げたこの経験は、高校生活最後を締めくくる、大切に貴重な思い出となりました。

2組 二組列車 出発進行!! 川端 康治

今年は、TAKANAWA GATEWAY CITYが開業したこともあり、電車をテーマに展示を行いました。「部屋いっぱいブラレールを走らせたい」という子どもの頃の夢を叶えるべく、ブラレールをレンタルしました。教室に走るブラレールの姿は、まさに圧巻でした。また、実際にブラレールで遊ぶスペースがあったのも良かったと思います。

3組 #Bagってる? 高橋 哲生

高校3年生は今回の建学祭が高校生活で最後の建学祭でした。私のクラスでは、今までの建学祭で思ったことや感じたことなどを活かし、今回はより充実した建学祭にできるように工夫しました。教室の装飾をする時はクラス全員で取り組むことで、普段はあまり話すことがない人とも関わるきっかけになりました。残り少ない高校生活の中で、準備期間を含めたこの4日間が、クラスのみんなの記憶に良い形で残ってくれていたら嬉しいです。

4組 4°Y ~for your bracelet~ 蒔 菜央

今年の建学祭は、クラスの一体感を強く感じられる行事になりました。準備の段階で意見が分かれることもありましたが、話し合いを重ねて全員で協力しながら進めることで、クラスの団結力が深まりました。当日は各自が自分の役割をしっかりと果たし、来校者に楽しんでもらえたことがとても嬉しかったです。建学祭を通して、クラス全体が一つにまとまると実感し、大切な思い出がまた一つ増えました。

5組 団扇の達人 石川 慶汰

今回の建学祭では、とてもたくさんのお客さんが私たち5組の出し物にお越しくださいました。予想を上回る大盛況となり、とても嬉しかったです。しかし、その反面、在庫がなくなってしまい、体験していただけないこともあり、大変申し訳ないです。卒業まで一緒に過ごせる時間は残り少なくなりましたが、最後までクラス一丸となって頑張りたいです。

6組 魅惑の渋谷チェーン 安田 礼

高校生活最後の建学祭は、チェーンストラップ作りを行いました。準備期間は不安もありましたが、多くのお客さんが来てくれました。そのおかげでチェーンもすべてなくなり、大成功で終わりました。お客さんが楽しそうに作ってくれた姿を見て、やって良かったと感じました。建学祭を通してクラスの仲もより深まり、助け合うことの大切さを実感しました。私たちの絆は強いチェーンのようにちぎれないものになりました。

7組 フランクの王国 天下谷 ちさと

建学祭に向けての準備期間から本番2日間まで、クラスみんなで協力して頑張れたのが良かったです。模擬店でフランクフルトを出すことになり、最初はうまくできるか不安でしたが、みんなで助け合いながら無事にやりきることができました。準備も本番も忙しかった建学祭期間でしたが、楽しく最後の建学祭をみんなで力を合わせてやり遂げられて、本当に良かったです。

8組 Harbor Pop 金子 なな

今年の建学祭では、クラス全員が一丸となって準備や運営に取り組む、非常に充実した時間を過ごすことができました。大変なことたくさんありましたが、一人ひとりが責任を持って役割を果たす姿勢が印象的でした。建学祭当日は雨が降ってしまい、なかなか思うようにはいかないこともありましたが、全員で協力して、楽しい建学祭を作ることができました。来てくれたお客さんが笑顔で楽しんでいるのを見て、とても嬉しかったです。貴重な経験になりました。

9組 39まん 芳賀 朱莉

3年9組では、肉まんの模擬店を出店しました。準備の段階では、どのようにすれば熱々でおいしい肉まんを提供できるか、何度も試行錯誤を重ねました。当日は多くのお客様に来店いただき、長い列ができる場面もありました。次々と注文が入る中で、全員が声を掛け合いながら協力して販売を続け、最後まで肉まんを売り切ることができて良かったです。全員で頑張って作り上げた模擬店を通して、最後の建学祭を思い出深いものにすることができました。

10組 走れ! 建学祭ミニ四駆GP 田中 翔海

建学祭の準備では、企業との連携を行い、協力を得ながら企画を進めました。準備期間中には予期せぬトラブルもありましたが、クラス全員で柔軟に対応し、無事に完成させることができました。本番当日は多くの来場者に足を運んでいただき、笑顔であふれるブースになったことに大きな達成感を感じました。結果として、準グランプリを受賞することもでき、努力が形になった喜びとともに、貴重な経験を得ることができました。



お知らせ

付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行

12月19日(金)～12月28日(日) 本校から15名が参加

主な訪問先(予定): ドイツ・オーストリア・フランス

これは学園の創立者である松前重義先生と関わりが深いヨーロッパを訪れ、現代文明論で学習をした「建学の精神」を見つめ直し、西洋史に登場する建造物等に直接触れ、歴史を身近なものとして把握する力をつけるとともに国際的な感覚を高める研修です。

吹奏楽部 定期演奏会

中等部
(第17回)

日 時: 2025年12月26日(金) 15:30開場 16:00開演

会 場: 赤坂区民センター区民ホール

(地下鉄赤坂見附駅下車、青山一丁目駅下車徒歩10分)

入場料: 無料(入場券事前配布: 詳細は顧問 新井または吹奏楽部員まで)

高 校
(第36回)

日 時: 2026年1月4日(日) 17:00開場 17:45開演

2026年1月6日(火) 17:00開場 17:45開演

会 場: ミューザ川崎シンフォニーホール

入場料: A席 2,500円 B席 2,000円 C席 1,500円(全席指定)

行事
予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

December 12 月

January 1 月

- 1日(月) 朝礼・短縮授業
付属推薦合格発表(高3)
- 5日(金) 後期中間試験答案返却(3限～)
- 6日(土) GTEC受検日②(高1・2)
付属推薦入学試験合格者説明会(高3)
- 7日(日) 学校説明見学会⑤(中等部)
- 8日(月) 校医相談日⑧
- 10日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 15日(月) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 16日(火) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 19日(金) 付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行(希望者:～28日)
- 20日(土) 生徒自宅学習日
- 24日(水) 冬期休暇(～1月6日)前諸注意・大掃除(3・4限目)
- 25日(木) 冬期講習(～27日)

- 1日(木) 元日
- 6日(火) 新春懇親会
- 7日(水) 朝礼・短縮授業 月曜の授業日
- 11日(日) 学校説明見学会⑥(中等部)
- 12日(月) 成人の日
- 13日(火) 校医相談日⑨
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング⑦
- 19日(月) 学年集会(高2)
- 22日(木) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(金) 高校推薦入学試験合格発表日(Web)
漢字検定③
- 26日(月) 生徒による授業評価アンケート④
- 27日(火) 特別時程(中1・2、高校:～29日)
卒業試験(中3:～29日)
- 30日(金) 振替休日(2/1分)
- 31日(土) 特別講座終了(高3)

編集
後記

インフルエンザで学校をお休みしていたとき、なんとなく点けていたテレビで純白のスーツを颯爽と着こなす仕事のできそうな弁護士が出てくるドラマを見ました(テレビ朝日系「緊急取調室」)。彼女は被疑者の人権を守る専門家として正義然とした態度を取っていたのですが、物語が進むにつれて実は事件の黒幕だったことが判明します▷真新しいカレンダーや手帳など、何かと真っ白いものに触れる機会の多い歳末ですが、「暮れ」と「黒」は語源を同じくするとか(対義語は「明け＝赤」です)。皆さま、どうかよい年明けをお迎えくださいませ。(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>